

防災

「警戒レベル」で避難のタイミングをお知らせします。

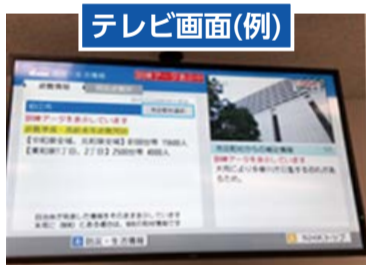
警戒レベル	避難情報等	危険度	市民の皆さんがとるべき行動 (避難を開始するタイミング等)	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)
警戒レベル5	災害の発生情報	高	既に災害が発生しているため、命を守るための最善の行動をとる。	大雨特別警報 氾濫発生情報
警戒レベル4	避難勧告または避難指示(緊急)	↓	全員避難 対象地域の住民は速やかに立退き避難、避難が難しいときは、屋内退避等の直ちに命を守る行動をとる。	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始		対象地域の高齢者、子供、体が不自由な方、付き添いの方は立退き避難を開始する。	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報(土砂災害)
警戒レベル2	大雨注意報 洪水注意報		避難の準備と避難行動の確認をする。	氾濫注意情報
警戒レベル1	早期注意情報	低	気象情報をこまめに確認し、災害に対する心構えをする。	

今年6月から、警戒レベルを用いた避難情報が発令されています。狛江市から「警戒レベル3」「警戒レベル4」が発令されたら、発令された地域にお住まいの方は速やかに避難所などの安全な場所へ避難(立退き避難)してください。避難が難しい方や浸水により避難が難しい時は、無理して立退き避難をせず、近くの堅牢な建物の上階に避難(垂直避難)するなど、命を守るための最善の行動をとってください。

避難に時間がかかる方は警戒レベル3警戒レベル4になったら全員避難

- ・ 狛江市が発令する警戒レベル及び避難情報は、危険度が低いものから順番に発令されるものではありません。
- ・ 警戒レベル1及び2は、気象庁から発表されます。
- ・ 防災気象情報は、皆さんが自主的に避難行動をとるために目安となる情報です。(※避難情報とは連動しません)
- ・ 狛江市が警戒レベル及び避難情報を発令する際には、開設する避難所をお知らせします。

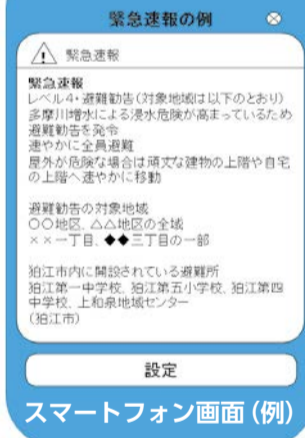
避難情報を確認しよう



狛江市が発令する警戒レベル・避難情報は、テレビやラジオ、携帯電話、スマートフォンでも確認できます。



守助
もりすけ

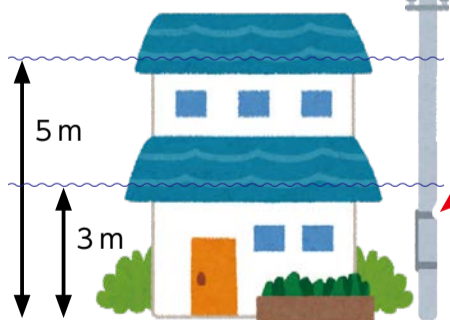


まるごとまちごとハザードマップ

狛江市内のどこにおいても多摩川氾濫時の想定浸水深が分かるように、浸水が想定される地域の電柱に「想定浸水深」と水害時の「避難所」を表示する取組みを進めています。

想定浸水深の目安

- 約3m 1階部分の高さ
- 約5m 2階の天井付近



想定浸水深標識



想定浸水深って何だろう??

想定浸水深・・・多摩川が氾濫した際の標識が設置されている場所とその周囲の浸水が一番深くなったときの予測値

水害は絶対に他人事ではありません

昔から「災害は忘れた頃にやってくる」と言われていますが、狛江市の災害史は「水害との戦い」と言っても過言ではありません。多摩川を挟んで両岸に同一の地名が存在するのは、洪水のため多摩川の河道が変わり、その地域が分断されたためと言われています。また、狛江市中和泉4丁目にある万葉歌碑は、当初は猪方の地に建立されていましたが、1829年の洪水により流出し、再建されたものであると伝えられています。



昭和49年多摩川水害

昭和49年多摩川水害から今年で45年が過ぎようとしていますが、災害対策が進んだ現在でも、水害の脅威がなくなったわけではありません。「避難しなくても大丈夫」とは絶対に考えず、狛江市から避難情報が発令される前でも身の安全を第一に考えた最善の行動をお願いします。

平成30年7月豪雨

平成30年6月28日から7月8日にかけて、台風第7号と梅雨前線等の影響で西日本を中心とした広範囲で発生した大雨が、死者224名、行方不明者8名、住宅全壊6,758棟、床上浸水8,567棟など、大きな被害をもたらしました。



水害後の岡山県倉敷市真備地区

